

分野
計画

地域情報化計画

行政事務における生産性の向上

- ICTによる事務の変革 ●職員のICTリテラシーの向上

デジタル化による高度な行政サービスの提供

- 行政事務デジタル化の推進 ●データ利活用の促進

持続可能な発展を支えるマネジメントの確立

- システム投資の最適化
- 情報セキュリティの強化
- 業務継続性の確保



指標 (KPI)

重要業績評価指標	基準値	目標値(令和7年度)
AI・RPA等の利活用により削減した業務時間	0時間	1,000時間 
オンライン申請ができる行政手続数	5項目	16項目 
「オンライン申請など、デジタル化によって摂津市で行われる手続が便利になったと思う」と回答した市民の割合	40.9% (令和2年度)	60.0% 



基本
方向

ICTを駆使して業務の効率化を進め、オンライン化やデータの利活用により行政サービスの向上を図ります。また、安全・安心に利用できるよう、情報セキュリティの強化や業務継続性の確保に取り組めます。

人材に代わる新たな担い手
ニーズが多様化する一方で、行政には少数精鋭の職員体制が求められています。このような中、技術革新が進展し、ICTは人材に代わる新たな担い手として、不可欠なツールとなっています。行政改革を進めていくには、事務のデジタル化を進め、

現状と課題
ICTを活用したサービス向上
スマートフォン等のモバイル端末の普及が急速に進み、誰もが、いつでも、どこでも、様々なサービスをオンラインで利用できるようになっており、今やICTは人々にとってより身近で、生活に欠かせないものになっています。その一方で、行政においてはデジタル化の遅れが指摘されており、オンライン手続の増加や、データの利活用等による行政サービスの向上が求められます。



情報セキュリティと業務継続
デジタル化の進展により、サービスや効率性が向上する一方で、情報漏えいした際の被害や障害・災害等でシステムが停止した際の影響もまた大きくなります。今後、市が持続的に発展していくためには、新たな脅威にも対応できるような情報セキュリティ・業務継続の仕組みを構築していく必要があります。

AIやRPA等を活用し、業務効率を向上させていく必要があります。

行政経営
10-2

デジタル化

